

樂曲編



# 郷

— Sato —

郷

— S a t o —

制作秘話!!

夢源風人

2019年度演舞

# 一年間、一緒に 喜びを分かち合おう

夢源風人は、よさこい祭り・こいや祭りに参加するために結成され、今年で18年目を迎えます。現在では、様々な世代のメンバーが集まり、活躍の場を全国各地への広がっています。

チームコンセプトは「目には見えない思いのつながり」。日々の活動やお祭りを通して、「コンセプト」を表現・発信しています。

今回は、代表のあきべーさんに、楽曲制作の流れやMCについて、お話を伺います。  
それではスタート！

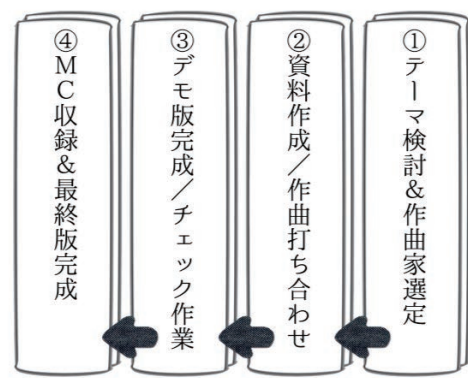
**あきべー**  
今回紙面をいただくにあたって、楽曲制作の流れを紹介させていただくことにしました。  
普段あまり意識することのない楽曲制作について、どういった感じで作っているのかを、「ふん」と感じていただけたら幸いです。



我らの係長 代表  
あきべーさん (34)

## 楽曲制作って何するの？

楽曲制作は大きく4つの過程があります。細かく言えば、振り付けやMCにも密接に関わって来ますが、今回は「楽曲制作」に絞ってお話させてもらいます！楽曲制作は基本的にこんな流れでやっているんですよー。



## テーマって、どうやって決まるの？

**あきべー**

テーマの検討は今期の事務局会議の一番最初の議題に上がります。というより、制作のスケジュールを考えると少しでも早く、次のテーマを検討したいんですね。他のチームさんではテーマ決定は1年以上前にすると聞くこともあります。**5月くらいには来年度の楽曲制作に入っているとかなんと、(汗)**けど、ぴとこの代表、事務局って知ってる通り「任期制」です。なのでテーマを考えるのも、次の期が決まってからになります。その期の会議が始まるまで「こんなテーマやってみてみたいな」とかふんわりいくつ考えていたりします。

それで、8月の高知が終わってスパよさが始まる前くらいに事務局の会議があって、その時に「こんなやつてみたい」とか「なにかやりたいものある？」とか話しあって、その期のテーマ・方向性を検討していくことになります。

8月の中旬に事務局会議をスタートして、9月の下旬にはテーマの決定です。

テーマの決定に関しては、やりたいことを表しているかはもちろんですが、耳に残りやすい名前か、また最近ではSNSのハッシュタグに入れやすいかも考慮しているつもりです。(ハッシュタグにあふさかん・シンフォニーで「・、ハレ、晴れで」「」が使えないことを知りました。(笑))

## 作曲家選びで考えてることとか、大切にしていることありますか？

**あきべー**

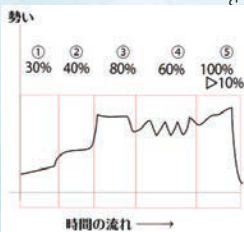
2017年からは、末松先生&岩見先生（P L A N E T S T U D I O）にお願いしています。作曲家選びは次の3つを重視しています。

- (Ⅰ) 作曲家が得意な分野か
- (Ⅱ) 打ち合わせがしやすいか
- (Ⅲ) 納期と制作費用が見合うか

(Ⅰ) 作曲家が得意な分野に関しては作曲家の先生にも得意不得意の分野があるので、このテーマなら作れる、難しいなどは相談しています。もし、万が一「このテーマはスタイルに合わない！」と言われてしまうと、作曲家かテーマの変更を検討しなければいけないので大事です(笑)

(Ⅱ) 打ち合わせがしやすいか、とても大事です。一緒にお仕事をしたいかどうかね。要望が通らない、やりたいことが伝わらない、連絡が取れない、こういう事を他のチームさんからも聞きますし、実際昔に体験したこともあります。

とはいえ、それが作曲家が悪いのかというと、それも少し違って、大事な日は頃から連絡などを



備考/末松先生との打ち合わせには文字と合わせてこんなイメージグラフも作ってお話していました。

「このチームと一緒にやりたい、後に回したくない」と思ってもらえるような関係作りが大事なんだと思います。

なのでチームに祭りでおめでたい事があると、作曲の末松先生と振り付けの千賀先生にはチームから必ず連絡しています。どの業者さんもチームの制作仲間です。「一年間を一緒に喜びを分かち合おう」という気持ちを含めて連絡することはすごく大事なのではと感じています。

(Ⅲ) 納期と予算は当たり前なんですけど、毎年の打ち合わせで必ず確認しています。納期に関しては、何年か一緒に作って、「うちのことわかってくれるからいいかな」とか思うときと大変な目にあります。(笑)

特にうちの制作スケジュールって他のチームさんと比べてもだいぶ急ピッチで、そして作曲家さんは30から40チームの曲を担当しているっていうこともあるので、こちらのスケジュールを伝えないと忘れられます。逆に作曲家さんからしっかりと確認してくれる業者さんは、すごく信頼がおけますね。末松先生は必ず確認してくれるので、そこは本当にありがたいと感じています。

こつこつとした事を念頭において実際に書類の準備、打ち合わせ……と行った段取りになるのですが、楽曲制作の入り口、感じてもらえたでしょうか。興味があればぜひ続きを聞きに来て下さいませ！

そして！楽曲制作に関わってみたい！そう思った人、ぜひ事務局へお越しくださいませ！

(続?)

今回は、楽曲制作の最初の最初、テーマ決めから作曲家選定、そして作曲家と仲良く一緒に作り上げていくために、何をしているのかを赤裸々に話していただきました。

4分間という短い時間の中で、自分たちのやりたいことをどれだけ表現できるか、詰め込められるか、そして、そのために事前準備や一緒に作り上げていく姿勢というのが大切なんですね。今回のお話を読んで後、今期の楽曲や過去の曲を聴いてみると、新たな発見があるかもしれませんよ。